

平成28年度実施 第1回沖縄県青少年の家に係る指定管理者制度運用委員会
(モニタリング検証結果について)

- 1 日時 : 平成28年8月8日(月) 13:00~15:00
- 2 場所 : 県庁13階教育委員室
- 3 出席者 : 沖縄県立青少年の家指定管理者制度運用委員会委員5人
事務局一生涯学習振興課長、管理班長、社会教育班員、管理班員
- 4 検証事項 : 県立青少年の家6施設(名護、糸満、石川、玉城、宮古、石垣)の
平成27年度モニタリング検証結果の検討について
- 5 検証内容 :
 - (1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適切に行われているか
 - (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
 - (3) 利用者アンケートや苦言に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか
- 6 検証方法 : 事務局(生涯学習振興課)によるモニタリング報告の後、質疑応答を行いながら各項目について検証を進めた

■委員1

・指定管理料に修繕費や備品購入費が含まれているのであれば、改築した石川はそのお金が浮くことになる。その分の指定管理料の県への引き上げがあるのか。

□事務局

・指定管理料には修繕費や備品購入費も含まれている。石川について、指定管理料の県への引き上げはない。収支実績の報告から、指定管理料は各所適切に執行されていると考える。

■委員1

・玉城などの老朽化した施設は費用がかさむ。石川と玉城では指定管理料は金額的に同程度である。それでは指定管理者間の中で不公平が生じているのではないか。

□事務局

・指定管理料は、基本的に、各所ごとに過去数年の収支実績を基に算定する仕組みになっている。なので、各所に適した指定管理料が設定されている。収支実績からも不公平が生じているとは考えていない。

■委員2

・修繕や備品の購入については県が負担しているのか。

□事務局

・50万円以上の修繕については、県が負担することになっており、協定書にも記載されて

いる。また、備品についても消防備品など、安全面や施設の性質として必要性の高い物については、県で購入することもある。

■委員 2

・備品を指定管理者が購入した場合の取扱いについてはどうなるのか。

□事務局

・指定管理の更新がない場合は、指定管理者が購入した備品は、指定管理者で引き上げるかどうか県と協議できることになっている。

■委員 3

・各施設の火災保険について、指定管理者が出資している所と、していない所とあるが、どうなっているのか。

□事務局

・火災保険は、各所とも県で建物共済に加入している。その上で各指定管理者の任意により、県の加入する保険以上の厚遇を求める場合に指定管理者で自主加入をしている。

■委員 4

・アンケートの無回答や集計数の少なさが気になる。アンケートの取り方に問題があるのでは。

□事務局

・アンケートの取り方に問題があったかもしれない。アンケート記入時間があまり確保できなかった等の問題で無回答ということが考えられる。事業の実施直後に行うと時間が上手くとれないとの報告も受けている。記入時間の確保について周知徹底を行う。

■委員 3

・アンケートに関しては、本年度から様式を統一し行うこととなるので、今モニタリングで見られる回収率や無回答の問題も解決されるはずである。また、アンケートの取り方は国立に習って統一様式を代表者アンケート、主催・自主事業アンケートの2種類を作成している。代表者アンケートとしているのは、子どもが多い団体等の場合にアンケート結果に信頼度にかけることがあることが想定されるため、国立に習ってそのように定めた。

□事務局

・アンケートの集計結果報告のあり方や、モニタリングでのアンケート結果の落とし込み様式の統一など行っていかなくてはならない。

■委員 5

・施設宿泊研修等の利用にあたり、施設で事前調整を必ず行わなければならないのは困るということだが、今もそうなのか。他県の施設では、当日で調整を行っているところもある。施設利用者は学校関係だけではない。青少年団体については、昼間は直接施設へ行って調整することは難しい。

■委員 3

・引率者として現場の直接確認は大切。例えば、施設の指導員から施設の危険箇所を直接

見回りながら指導を受けるなどのことがあり、施設管理者、利用者双方にとって必要である。遠方については、何日か前に電話等だけのやりとりで、安全面は施設任せというのは問題では。前もって行くことが難しくとも、当日の2時間前に先乗りして打ち合わせを行うなどでもやったほうがいい。

□事務局

・複数団体が入る時など調整が必要になる。施設だけでは判断できない事項のすり合わせが必要になる場合もある。各施設のある程度の裁量で、事前打ち合わせのルールについて弾力性を持たせられる方向で調整したい。

■委員3

・石川と玉城で宿泊指導者研修を同じ日程でやっているのは、合同で計画するのもいいのでは。その他の事業についても各所で合同プログラムを組めたりはできないのか。また、教員の免許更新と抱き合わせで事業を行えたりはできないのか。国立施設では、実際にやっていたりする。

□事務局

・実現可能かどうか検討したい。

7 検証結果：モニタリング検証にあたり、沖縄県立青少年の家の指定管理運営状況について上記の評価を得た。指定管理社及び県が実施するモニタリングについて課題・検討事項を踏まえながら今後も適切に行いたい。

I. 履行確認

1. 維持管理業務

- (1) 清掃
- (2) 保守・点検
- (3) 保安・警備
- (4) 小規模修繕
- (5) 備品購入

2. 運營業務

- (1) 利用実績
 - 1) 利用者数
 - 2) 施設稼働率
- (2) 主催事業
- (3) 自主事業

II. サービスの質の評価

- (1) 維持管理業務
- (2) 運營業務
- (3) 総合評価

III. サービスの安定性評価

1. 事業収入

- (1) 収入
- (2) 支出

2. 経営分析指標

県立【糸満】青少年の家 指定管理者 モニタリングシート

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉	全職員により、館内および構内全般の清掃活動及び植栽の維持管理を行った。	所内巡回確認書類確認	概ね適正	現地確認により適切に実施されていた。日常清掃チェック表を作成する等、より一層の施設美化に取り組んでもらいたい。
〈定期清掃〉	清掃分担区毎に担当者を置き、定期的に点検及び清掃実施、水質検査(年1回)、貯水槽掃除(年1回)、チリ回収(週3回)、グリストラップ(年2回)	契約書、実績報告書及び現地確認	適正	契約書、実施報告書及び現地確認により適切に実施されていた。日常清掃チェック表を作成する等、より一層の施設美化に取り組んでもらいたい。

(2) 保守・点検

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
電気設備点検	隔月1回、年次点検 年1回	契約書、実施報告書等により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた。
消防設備保守点検	年2回 (平成26年6月13日、平成27年1月13日)	契約書、実施報告書等により確認	適正	消防点検報告書等により、適切に処理されていた。
簡易水道設備点検	毎月1回、年次法定検査 年1回	契約書、実施報告書等により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた。
浄化槽設備点検	毎月1回、年次法定検査 年1回	契約書、実施報告書等により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた。
ボイラー設備保守点検	年2回	契約書、実施報告書等により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた。
昇降機設備保守点検	定期点検4回/年 巡視1回/年 遠隔操作点検1回/年 性能検査1回/年	契約書、実施報告書等により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた。

(3) 保安・警備

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
保安警備	毎日 17:30～8:30 常駐1名 保安警備実施	警備日誌、契約書等により確認	適正	今後も安全管理を徹底すること。

(4) 小規模修繕

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
1件50万円未満の修繕を実施。	計36件(1,484千円)。貯湯槽パッキン取替、ボイラー制御センサー取替、体育館防球格子修繕、クーラタイムスイッチ20個取り付け、便器取替修繕2件、シャッター修繕ほか消防設備の修繕、浄化槽原水槽ポンプ修繕、硝子取替修繕、外灯及び照明器具の修繕など	修繕費一覧表、請求書等で確認	適正	今後も所管課との連携を図りながら、計画的な修繕に努めること。

(5) 備品購入

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
当初予算 745千円	計3件(227千円) 掃除機2台、インパクトドライバー、ワイヤレスマイク	備品購入一覧表、請求書、納品書等で確認	適正	今後も所管課との連携を図りながら、計画的な備品購入に努めること。

※維持管理業務については、必要に応じて項目を追加して記入して下さい。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数

		事業計画	実績	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に向けた分析
利用者数	利用者実数	29,577	32,371	109%	利用者実数、利用者延べ数ともに計画を超える実績となっている。
	利用者延べ数	51,616	56,407	109%	

2) 施設稼働率

		事業計画	実績	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に向けた分析
開所日数		360	360	100%	ほぼ計画通りの実績となっている。
利用日数		360	352	98%	
利用率		100%	98%	98%	
利用延べ人数		51,614	56,407	109%	
	学校教育	37,890	36,816	97%	
	社会教育	7,821	10,297	132%	全体的に、利用者数が前年に比べて増加している。会議室の稼働率の上昇に向けて利用増加を検討する必要がある。
	その他	5,903	9,294	157%	
施設別利用		50,543	70,463	139%	
	宿泊室	20,731	32,371	156%	
	研修室	14,834	12,814	86%	
	体育館(プレイホール)	14,451	19,486	135%	
	キャンプ場	527	5,792	1099%	
	その他	0	0	0%	

(2) 主催事業

事業名	実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に向けた分析
ホテルウォッチング(沖縄県に生息するホテルについて学び、ホテルの観察を通してその生態に触れ、ホテルの住む環境について考える)	5/9	小学生以上 (保護者同伴)	20	17	85.00%	ほぼ計画通りの実績である。
わくわくセカンドスクール 曙小学校(児童が学校とは異なる環境で様々な体験活動を通じ、自主性や規律・仲間を大切にすることを養う)	6/3~6/5	那覇市立曙小学校	61	61	100.00%	計画通りの実績である。
ファミリーキャンプパートI(ファミリーキャンプを通して、日常とはひと味違った環境の中で交流を深め、野外炊飯やクラフト工作などで互いに協力し合いながら、家族の絆を強くする機会とする)	6/7~6/8	小学生のいる家族	8家族	6家族(21人)	75.00%	ほぼ計画通りの実績である。
わくわくセカンドスクール 真壁小学校(児童が、学校とは異なる環境で様々な体験活動をおし、自主性や規律、仲間を大切にすることを養う。また、児童のキャリア教育に関する活動において、将来の人生設計や進路を考えるきっかけにする)	9/9~9/11	真壁小学校	19	19	100.00%	計画通りの実績である。

ファミリーキャンプパートⅡ（ファミリーキャンプを通して、日常とはひと味違った環境の中で交流を深め、野外炊飯やクラフト工作などで互いに協力し合いながら、家族の絆を強くする機会とする）	11/21～11/22	小学生のいる家族	8家族	7家族（25人）	87.50%	ほぼ計画通りの実績である。
いきいきふれあいスクールパートⅡ（様々な体験活動を通じて、児童生徒間の交流を促進させるとともに社会的な適応と自立への支援を図る）	12/10～12/11	適応指導教室に通う児童生徒及び引率	20	6（児童3名、引率3名）	30.00%	広報の方法を改善する必要がある。

(3) 自主事業

事業名	実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検証 (計画達成率%)	業務改善に向けた分析
ステップアップ講座(日頃より、教員採用試験に取り組んでいる受験生を対象に、講義・情報交換の場を与えることで、一層合格への活力を上げるものとする)	2/14～7/18 講話実施日 4/26	平成28年（平成27年度実施）沖縄県公立学校教員候補者選考試験 受験予定者	40	3	7.50%	開催方法の検討が必要である。
親子で潮干狩り体験教室（潮干狩りを安全に楽しく行う方法を指導するとともに、海と海の生き物への関心を深める）	4/19（雨天のため中止） 5/5実施	小学生以上の子のいる家族	25	24→9名	36.00%	悪天候の場合の予備日の設定が必要である。
無人島アグレッシブサバイバルキャンプ（現代の教育活動において「生きる力」を育むための様々な体験活動が重視されている。要の自然環境の中でテントを張り集団生活し、物の不足やトイレもなく不便で不自由な厳しい自給自足の生活を強いられる。その過程で火の暖かさや、人・仲間の大切さなどを感じることで、共同の精神・規範意識・自然へ感謝する心を養う機会となることを目的とする。）	7/21～7/24	小学4年生～中学3年生	12	16	133.33%	計画を上回る実績である。
プロが語るアスリートの育て方	9/27	スポーツに携わる指導者、保護者、健康やスポーツに関心のあるかたなど	140	95	67.86%	広報の方法を改善する必要がある。
ウォーキング・ジョギング教室（県民の健康の保持増進と運動の習慣化並びに意識の高揚を図り、誰でも運動できる環境を提供する。また、心身ともに健康な生活習慣を実現するため、個々の能力に応じた技能を身につけ、楽しく運動を実践する能力を身につける）	10/3～10/4	大人（18歳以上）	20	5	25.00%	広報の方法を改善する必要がある。
ヒッチーウチナーグチ講座（沖縄の文化であるウチナーグチを学び、広く沖縄の電灯に触れるとともに、キャンプを辻田仲真作りのきっかけとする）	10/11～10/12	小学校高学年以上	30	10	33.33%	広報の方法を改善する必要がある。
星空観察夏編（夏に輝く星空を観察し、宇宙に対する興味や過去の人々が思い描いた神話の世界への好奇心と探求心を養う）	11/7	親子30名（子どもは幼稚園児以上を対象とする）	30	13	43.33%	広報の方法を改善する必要がある。

子ども遊びリンピック 小学生フリースロー&30n3大会	10/18			(2チーム) 90		広報の方法を改善する必要がある。	
星空観察partⅡ～秋編(秋に輝く星空を観察し、宇宙への好奇心と探究心を養う)	11/7	親子30名(子どもは幼稚園児以上を対象とする)	30	13	43.33%	広報の方法を改善する必要がある。	
ステップアップ講座(日頃より、教員採用試験に取り組んでいる受験生を対象に、講義・情報交換の場を与えることで、一層合格への活力を上げるものとする)	12/13～7/19 ・講話実施日 12/13	平成29年(平成28年度実施)沖縄県公立学校教員候補者選考試験 受験予定者	40	受講生40名のうち13名	32.50%	広報の方法を改善する必要がある。	
イザリ漁体験講座(イザリ漁体験を通し、海の生態系や環境保全について考える)	1/16	親子(こどもは小学生以上を対象とする)	15	13	86.67%	ほぼ計画通りの実績である。	
バドミントン教室	2/2～2/25	一般(初心者及び中級者)	20	16	80.00%	ほぼ計画通りの実績である。	
中高年キャンプ (寒冷のため中止)							
あり!あり!ワラバー塾 (「沖縄の衣・食・住」をテーマに、染め物体験や野外炊飯、キャンプ泊を通して、今の生活の豊かさについて体感する機会を与える9)	1/30～1/31	小学生	15	13	86.67%	ほぼ計画通りの実績である。	
日米子ども交流キャンプ(日米の小学生が、キャンプを通して互いの文化や言葉に対する理解を深め、異文化コミュニケーションを図る)	2/20～2/21	日米の小学生	20	55	275.00%	計画を上回る実績である。	
デジカメ一眼レフカメラ教室 (デジタル一眼レフカメラをお持ちの方を対象に、基本操作を踏まえフィールドワーク(撮影会)や写真の見方を通して、人との交流・表現力の向上を身につけ、デジタル一眼レフカメラの特性と楽しさを知る)	2/14	デジタル一眼レフカメラをお持ちの高校生以上	15	3	20.00%	広報の方法を改善する必要がある。	
星空観察part3～冬編～(冬に輝く星空を観察し、宇宙への好奇心と探究心を養う)	3/12	親子30名(子どもは幼稚園児以上を対象とする)	20	0	0.00%	インフル等でキャンセル者16名	
第4回(学)KBC学園杯 小学生対抗駅伝大会(子どもたちの体力の向上を図り、健康の保持増進や運動の習慣かへの意識付けにつなげる。また、チーム競技である駅伝を通して、責任感・連帯感を高め、仲間と想いや感動を分かち合うなど、豊かな体験を通して児童の心の心身の健全な育成を図る。)	3/13	小学生(保護者の許可が必要)		①駅伝競技先着20チーム ②タイムトライアル競技 7名	6チーム30人 タイム5人	40.00%	企画の内容や広報の方法を改善する必要がある。
無人島アグレシッパサバイバルキャンプ～冬編～ 延期	12/25～12/28		12			開催時期の改善が必要である。	

パソコン教室（情報社会の現代の中で、パソコン等が使えず、情報が取得できずに不利益を被るなどの、情報格差が問題となっている。そこで、パソコンの基本知識、基本動作を指導する）	3月6日	一般成人	20	14	70.00%	ほぼ計画通りの実績である。
---	------	------	----	----	--------	---------------

Ⅱ. サービスの質の評価

評価項目	第三者（利用者等）評価	指定管理者自己評価	業務改善に向けた分析	
維持管理業務	施設内の環境について（安全性、清潔性、空調等）	<p>〈アンケート回答 計92件〉 （結果構成比） （1）良い 4% （2）普通 0% （3）悪い 21% （4）無回答 75%</p> <p>〈改善要望〉 【宿泊室】 ①空調機がなく、なかなか寝付けなかった。 ②マットレスが濡れていたり、数が足りなかった。入所前に入念なチェックをしてもらいたい。 ③畳と寝具の入れ替えを希望する。ハウスダスト、アレルギーのある人の使用に耐えられない。 ④臭いが気になる。</p> <p>【風呂場】 ①カビが気になった。</p> <p>【トイレ】 ①スリッパが古く、切れている物がある。 ②トイレトペーパーの交換をしてほしい。 ③トイレトペーパーがなかった</p> <p>【研修室】 ①空調が効かない。せめて扇風機を置いてほしい。</p> <p>【その他】 ①講師室の清掃用具（洗剤、たわし、スポンジ等）を常設してほしい。 ②空調機電源の入れ忘れがあり、就寝の時に暑い思いをした。</p>	<p>・本所建物は、平成7年度に竣工して20年が経過したため、諸施設設備に経年劣化がみられる。引き続き、職員による安全点検や、業者点検等で安全を確保していきたい。消耗品等は、迅速に対応したい。</p>	<p>今後とも各種点検業務を行い、安全管理に努めること。施設修繕については、必要性、優先順位、工程等を考慮し、年次計画を作成すること。</p>
	職員の対応について	<p>〈アンケート回答 計96件〉 （結果構成比） （1）とても良い 1% （2）良い 0% （3）普通 0% （4）悪い 3% （5）無回答 96%</p> <p>〈改善要望〉 ①入所前の事前打ち合わせと違う対応をお願いされ、講義に支障をきたした。 ②食堂への連絡が別であることは改善できないか。 ③入浴時間の調整が難しく、対応してもらえると助かる。</p>	<p>・一部職員の対応不足もあったが、概ねの人が満足したと思われる。</p>	<p>今後とも、スタッフに対する研修を実施し、より接客サービスの向上に努めること。また、常に利用者の立場にたち、利用しやすい環境を構築すること。</p>
	（マナー、施設の利用方法の説明等）	<p>〈アンケート回答 計0件〉 （結果構成比） （1）とても良い % （2）良い % （3）普通 % （4）悪い % （5）無回答 %</p>	<p>職員間の連絡調整や連携を強化し、情報を共有するように努めたい。</p>	
	（職員が施設の利用方法をきちんと理解していたか）	<p>〈アンケート回答 計0件〉 （結果構成比） （1）とても良い % （2）良い % （3）普通 % （4）悪い % （5）無回答 %</p>	<p>施設利用に関する事前調整をしっかりとやりたい。</p>	
	運営業務			

	<p>施設設備について</p>	<p>(アンケート回答 計92件) (結果構成比) (1) とても良い 0% (2) 良い 5% (3) 普通 0% (4) 悪い 34% (5) 無回答 61%</p> <p>〈改善要望 【施設全般】 ①雨天時用としてドーム型グラウンドや第2体育館を設置してほしい。 ②体育館から遊歩道の植物の剪定をしてほしい。 ③小さい子のために、浴室、トイレの洗面台の踏み台が一個でもあればよかった。 ④利用料金が安いことはありがたいが、料金を上げて、施設設備の向上を希望する。</p> <p>【宿泊室】 ①毛布の傷みが激しいので交換してほしい。 ②網戸を張り替えてほしい。 ③畳をかえてほしい。 ④網戸の破損箇所が多い。 ⑤ふすまが破れている。電気が切れている。毛布がほしい。 ⑥宿泊室に鍵が必要だと思う。</p> <p>【研修室】 ①研修室が暑い。せめて扇風機を置いてほしい。</p> <p>【大講堂】 ①ホワイトボードの修理をしてほしい。壊れた物はどかしてほしい。</p> <p>【プレイホール (体育館)】 ①整理整頓が気になりました。</p> <p>【グラウンド】 ①サッカーチームの団体なのでグラウンドを使いたい。 ②グラウンドがデコボコして、サッカーなどの野外スポーツができない。</p> <p>【備品】 ①大講堂の掃除機が故障している ②各コーナーにあるソファのカバーをつけるか、新調してほしい ③パソコン2台とも調子が悪く、計画した研修ができなかった ④プロジェクター等、音響設備の充実を図ってほしい。 ⑤パソコンイヤホンジャックからアンプにつないで音が出せるようにしてほしい。 ⑥テレビを地デジ化してほしい。(液晶テレビの要望) ⑦体育館のボールに空気が入っていない。 ⑧サッカーゴールポストがもう少し見やすく、もう少し安全性があればよいと思う。 ⑨研修室①にも掃除機が必要です ⑩テントは泊にも毛布がほしかった。 ⑪洗濯機を増やしてほしい。 ⑫清掃用具が使いづらい。ちりとりが小さすぎる。掃き箒が必要。</p>	<p>・本所建物は、諸施設設備に経年劣化がみられる。特に、ボイラー設備・トイレや浴室の排水設備などに不具合が生じて、利用者に不便を掛ける場合が多い。詰まりのひどい箇所については、その都度業者に対応してもらっているが、抜本的なパイプ詰り除去工事が必要である。また、厨房の冷蔵庫・調理機器類にも経年劣化による不具合が生じて、その都度、小修理を繰り返しているが、機器の更新がぜひ必要である。</p>	<p>今後とも各種点検業務を行い安全管理に努めること。 大規模施設修繕については所管課を交え、必要性、優先順位、工程等を考慮し、年次計画を立案していくこと。</p>
--	-----------------	---	--	--

評価項目	第三者（利用者等）評価	指定管理者 自己評価	業務改善に向けた分析
運営業務	事業について （アンケート回答 計 67件） （結果構成比） （1）とても良い 51% （2）良い 47% （3）普通 1% （4）悪い % （5）無回答 1%		
	主催事業 ①「 ホタルウォッチング 」 ・小さい子には少し難しかったように思う。大人にはとてもためになった。 ②「 生き生きふれあいスクール 」 ・ピザを生地から作るのが良かった。漆喰シーサーづくりは臭いも手触りも良い体験になった。 ③「 ファミリーキャンプ 」 ・夏の特別な体験。一生の思い出になると思う。・初めてのキャンプで、キャンプの大変さや楽しさを知ることができた。 ④「 夏休み子ども体験教室 」 ・ロケットの名前や仕組みについて知ることができた。・家でも作って飛ばしてみたい。 ⑤「 高・大・地域連携福祉研究大会 」 ・現場の事業所の声が聞ける時間がほしい。・参加しやすい日程を考えてほしい。・介護職に対してイメージが変わった。 ⑥「 わくわくセカンドスクール 」 ・初めて魚をさばいてドキドキした。ロボット相撲やストラップづくりが楽しかった。本物を実際に触って感じることでよかった。		
	自主事業 ①「 ウォーキング・ジョギング教室 」一日目にDVD・ビデオ等による正しいフォーム・ストレッチの仕方について説明があればもっと意識が高まったと思う。 ②「 星空観察 」 ・毎月行ってほしい。 ・広報は、新聞だけでなくラジオとか他の方法でだしてもよいのではないか。 ③「 ヒッチーウチナーグチキャンプ 」 ・定期的で開催することによりもっと参加人数が増えて内容も充実すると思う。・天候に左右されない時期にキャンプファイヤーができるようにしてもらいたい。・体の部位のクイズがあったが、家族の呼び名クイズもあると良い。・ウチナーグチをもっと聞かせる仕組みにすると、ウチナーグチ漬けになって良いかと思った。 ・時間を増やしてほしい。 ④「 バドミントン教室 」 ・年一回の開催だが、週一回の2ヶ月くらいとか、もう少し続くような日程だと参加者も増えるのではないか。 ⑤「 潮干狩り体験教室 」 ・貝や魚などさまざまな海の生き物が観察できてよかった。・家族だけでは行けない環境へ行くことができて勉強になった。	・アンケート結果や参加者の声などから随時点検を行い、改善を図りながら適切な運営に努めたい	今後とも、出来る範囲で利用者ニーズに応えられるよう運営を行うこと。予約については施設の設置根拠を利用者に理解してもらうよう努めること。

受入			
総合評価	<p>9 (アンケート回答 計92件) (結果構成比)</p> <p>(1) とても良い 13% (2) 良い 38% (3) 普通 1% (4) 悪い 14% (5) 無回答 34%</p>	<p>改善要望として多かったのは、施設設備の劣化による不具合であった。利用者の清掃を徹底するとともに、職員による日頃の点検を強化し、環境美化に努めていきたい。</p>	<p>全般的に適切な対応が出来ている。今後も各種目標を達成するためにサービスの向上に努めること。また、施設の修繕に関しては所管課を通し、計画の作成を早急に行うこと。</p>

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。

Ⅲ. サービスの安定性評価

1. 事業収入

(1) 収入

(単位：千円)

収入項目		事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
利用料金収入	計	10,128	8,047	79%	
	宿泊室	9,000	6,933	77%	
	キャンプ場	90	83	92%	
	研修室及び訓練室	350	329	94%	
	プレイホール	688	702	102%	
指定管理料		37,989	37,989	100%	
主催事業収入		500	544	109%	
自主事業収入		500	644	129%	
事業収入その他		2,000	2,906	145%	
その他収入（自販機電気料等）		8	198	2475%	
合計（A）		51,125	50,328	98%	
〈業務改善に向けた分析〉					
宿泊利用者数は増加傾向であるが、計画値には満たなかった。今後も計画に沿って事業を推進していくこと					

(2) 支出

(単位：千円)

支出項目		事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
人件費		23,334	23,673	101%	
報償費		350	271	77%	
旅費		338	115	34%	
需用費		13,604	15,193	112%	
	消耗品費	5,327	6,185	116%	
	燃料費	200	490	245%	
	印刷製本費	18	9	50%	
	光熱水費	6,597	7,015	106%	
	修繕料	1,462	1,494	102%	
役務費		722	791	110%	
	通信運搬費	421	502	119%	
	手数料	23	25	109%	
	損害賠償保険料	162	92	57%	
	火災保険料	92	25	27%	
	自動車保険料	24	147	613%	
委託料		4,816	5,213	108%	
使用料及び賃借料		17	96	565%	
備品購入費		618	227	37%	
負担金		18	17	94%	
公課費		47	2,186	4651%	
原価償却費		0	255	微増	
合計（B）		43,864	48,037	110%	

系満

〈業務改善に向けた分析〉

事業計画に対する総支出は110%で、予算全体の執行率は100%を超えている。事業計画段階での支出配分見立ての精度向上に取り組むことで、より計画的な支出業務執行に努めさせる。

2. 経営分析指標

評価指標	事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
事業収支 (収入(A)-支出(B))(単位:千円)	7,261	2,291	32%	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	23%	17%	73%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	53%	49%	93%	
人件費比率 (人件費/収入(A))	46%	47%	103%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	11%	11%	99%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/収入(A))	9%	10%	110%	
利用者あたり管理コスト(※) (支出(B)/利用者数)(単位:円)	850	852	100%	
利用者あたり自治体負担コスト(※) (指定管理料/利用者数)(単位:円)	736	673	92%	
〈業務改善に向けた分析〉				
概ね計画通りの実績となっている。指定管理者の収入のうち指定管理料が75%で、事業収入等の増加により昨年度よりも2%減少となり、事業などによる収入増加につとめた指定管理者の運営努力がうかがえる。事業収支は過去3年間ともにおおよそ200万代で推移し安定している。				

※経営分析指標の評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。
人件費比率	人件費/支出	支出の中で人件費が減らされすぎていないか、それにより効率が低下していないかを確認する。
人件費比率	人件費/支出	支入の中に占める人件費がどの程度かを確認する。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。
外部委託費比率	外部委託費合計/収入	外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	1人あたりの利用者に対してどれだけのコストが費やされているか。コストが少なくても利用者が少ない、あるいは利用者は多いがコストがかかっているなど、前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	1人あたりの利用者に対してどれだけの県による財政負担がなされているか。前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。